

令和7年

# 火災・救急の概況

火 災

13件

大洲市 8件  
内子町 5件

救 急

3,685件

大洲市 2,706件  
内子町 966件  
管轄外 13件



大洲地区広域消防事務組合

【大洲市・内子町】





# 火災の概況

## 1 火災概要（1表）

令和7年中に組合管内で発生した火災は13件で、建物焼損棟数39棟、建物焼損床面積2,187㎡、林野焼損面積0a、死者2人、負傷者1人、り災世帯数10世帯、り災人員17人、損害額80,164千円である。

前年と比較すると、出火件数は4件減少し、焼損棟数は27棟増加、建物焼損床面積は1,959㎡増加、林野焼損面積は4a減少、死者数は1人減少、り災世帯数は1世帯増加、り災人員は2人増加、損害額は74,109千円増加している。

## 2 出火件数

出火件数は13件で、前年と比較すると4件減少している。1ヶ月あたり約1.1件の割合で火災が発生している。

### (1) 市町別出火件数（2・3表）

市町別出火件数は、大洲市8件（内訳：大洲4件、長浜3件、肱川1件、河辺0件）、内子町5件（内訳：内子2件、五十崎2件、小田1件）である。

### (2) 火災種別（2・4・10表）

火災種別にみると、建物火災が8件（全火災の61.5%）で最も多く、その他の火災が3件（23.1%）、船舶火災及び車両火災が各1件（それぞれ7.7%）である。

なお、建物火災8件を用途別にみると、住宅が3件、作業場・工場が2件、倉庫が1件、店舗が1件、その他が1件である。

### (3) 四季別出火件数（5表）

四季別出火件数は、冬季における火災が5件、次いで秋季が4件、春季、夏季が各2件の順となっている。

## 3 出火率（6表）

出火率（人口1万人あたりの出火件数）は2.47件であり、令和6年と比べると0.69件減少している。

## 4 損害額（1・7表）

損害額は、80,164千円で前年より74,109千円増加している。内訳は、建物の損害額が大半を占めている。また、1件あたりの損害額は、約6,166千円であり、前年の356千円と比較すると5,810千円増加している。

## 5 出火原因（8表）

出火原因別にみると、出火件数13件のうち、「不明」が4件で最も多く、その他の原因が各1件である。

## 6 初期消火対応（9表）

出火件数13件のうち初期消火を試みたものは8件あり、このうち初期消火の効果があった火災は2件である。

また、消火器具別に効果のあったものは「水バケツ」「寝具、衣類等をかけた」が各1件である。

## 7 死傷者（1・11表）

火災による死傷者は、死者が2人で、前年に比べ1人減少している。また、負傷者は1人で前年に比べ1人減少している。

## 8 まとめ

令和7年中の火災発生状況は、焼損棟数および建物焼損床面積が前年と比較して増加しているものの、出火件数自体は減少しており、火災による死傷者数についても前年を下回る結果となった。

出火原因は特定の要因に偏ることなく発生しているが、火気取扱い時の不注意が火災発生のも因の一つと考えられる。このため、住民に対し、日常生活における火気管理の徹底、消火器具の備え、並びに乾燥時や強風時における火気使用への注意喚起を一層促進する必要がある。

林野火災については、近年の発生状況を踏まえ、林野火災注意報及び林野火災警報の発令に関する条例が整備され、火災危険度が高まる気象条件下における火気使用の抑制及び注意喚起を促進する体制が構築された。特に、乾燥時や強風時は林野火災発生の危険性が高まることから、林野火災注意報及び林野火災警報発令時においては、住民への周知徹底を図る必要がある。

また、建物火災は依然として火災種別の中で高い割合を占めており、住宅火災における被害軽減のためには迅速かつ適切な初期消火が重要である。しかしながら、初期消火の成功率は十分とは言えない状況にあることから、初期対応能力の向上が課題である。

今後は、自主防災組織等と連携し、防火講習会や防災訓練の実施を通じて住民の防火意識及び火災初期対応力の向上を図るとともに、住宅用火災警報器の設置・維持管理について継続的な普及啓発を行うものとする。

※ 数値については、速報値で計上しています。

# 1表 火災の概況

区 分	単位	令和7年	令和6年	増減数
出 火 件 数	件	13	17	▲ 4
建 物	〃	8	10	▲ 2
林 野	〃	0	1	▲ 1
車 両	〃	1	1	0
船 舶	〃	1	0	1
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	3	5	▲ 2
焼 損 棟 数	棟	39	12	27
全 焼	〃	26	3	23
半 焼	〃	2	1	1
部 分 焼	〃	5	1	4
ぼ や	〃	6	7	▲ 1
建物焼損床面積	m <sup>2</sup>	2,187	228	1,959
建物焼損表面積	m <sup>2</sup>	167	2	165
林野焼損面積	a	0	4	▲ 4
死 者	人	2	3	▲ 1
負 傷 者	〃	1	2	▲ 1
30日死者	〃	0	0	0
り 災 世 帯 数	世帯	10	9	1
全 損	〃	6	2	4
半 損	〃	1	0	1
小 損	〃	3	7	▲ 4
り 災 人 員	人	17	15	2
損 害 額	千円	80,164	6,055	74,109
建 物	〃	74,864	5,843	69,021
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	1,995	60	1,935
船 舶	〃	3,235	0	3,235
航 空 機	〃	0	0	0
そ の 他	〃	70	152	▲ 82
爆発損害額	千円	0	0	0

※ ▲は減

2表 市町別火災状況

区分 市町別	火災種別						焼損面積			死傷者			焼損棟数	り災世帯数	損害額(千円)	
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	建物床面積(m <sup>2</sup> )	建物表面積(m <sup>2</sup> )	林野(a)	死者	負傷者	30日死者			総額	うち建物損害
大洲	4	3	0	1	0	0	766	17	0	1	0	0	20,695	13,168		
長浜	3	2	0	0	1	0	1,163	133	0	0	0	0	53,893	35,246		
肱川	1	1	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	161	120		
河辺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
小計	8	6	0	1	1	0	1,940	150	0	1	0	0	74,749	48,534		
内子	2	1	0	0	0	1	128	0	0	0	1	0	3,038	2,843		
五十崎	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	60	0		
小田	1	1	0	0	0	0	119	17	0	1	0	0	2,317	2,006		
小計	5	2	0	0	0	3	247	17	0	1	1	0	5,415	4,849		
合計	13	8	0	1	1	3	2,187	167	0	2	1	0	80,164	53,383		

建物損害額 = 建物損害額 + 収容物損害額

3表 市町別月別出火状況

年別・市町別	月別												合計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
令和7年	大洲	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	4
	長浜	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	肱川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
	河辺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内子	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	2
	五十崎	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
	小田	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
合計	3	0	0	1	1	1	0	1	1	2	1	2	13	

年別・市町別	月別												合計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
令和6年	大洲	1	0	3	0	1	0	1	2	0	0	1	0	9
	長浜	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	4
	肱川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	河辺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	内子	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	五十崎	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	小田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3	1	4	1	1	1	2	2	0	1	0	1	17	

4表 火災種別出火件数の構成割合 (%)

区 分	令和7年	令和6年
建 物 火 災	61.5	58.8
林 野 火 災	0.0	5.9
車 両 火 災	7.7	5.9
船 舶 火 災	7.7	0.0
航 空 機 火 災	0.0	0.0
そ の 他 の 火 災	23.1	29.4
合 計	100.0	100.0

5表 四季別出火状況

年 別 月 別	令和7年				令和6年			
	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)	出火 件数 (件)	割合 (%)	損害額(千 円)	割合 (%)
春 季 3月～5月	2	15.4	65,493	81.7	6	35.3	433	7.2
夏 季 6月～8月	2	15.4	5,230	6.5	5	29.4	0	0.0
秋 季 9月～11月	4	30.8	70	0.1	1	5.9	3,205	52.9
冬 季 12月～2月	5	38.5	9,371	11.7	5	29.4	2,417	39.9
合 計	13	100.0	80,164	100.0	17	100.0	6,055	100.0

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

6表 出火率・出火件数・人口・世帯数調

区 分		実 数		増減数	
		令和7年	令和6年		
大洲地区 広域消防 事務組合	出 火 率	2.47	3.16	▲ 0.69	
	出 火 件 数	13	17	▲ 4	
	うち建物火災	8	10	▲ 2	
	人 口	52,592	53,748	▲ 1,156	
	世 帯 数	26,097	26,421	▲ 324	
大 洲 市	大 洲	出 火 率	1.29	2.86	▲ 1.57
		出 火 件 数	4	9	▲ 5
		うち建物火災	3	7	▲ 4
		人 口	30,821	31,360	▲ 539
	世 帯 数	15,318	15,454	▲ 136	
	長 浜	出 火 率	5.74	7.37	▲ 1.63
		出 火 件 数	3	4	▲ 1
		うち建物火災	2	2	-
		人 口	5,220	5,427	▲ 207
	世 帯 数	2,788	2,875	▲ 87	
	肱 川	出 火 率	5.94	0	5.94
		出 火 件 数	1	0	1
		うち建物火災	1	0	-
		人 口	1,683	1,744	▲ 61
	世 帯 数	843	851	▲ 8	
	河 辺	出 火 率	0	0	-
出 火 件 数		0	0	-	
うち建物火災		0	0	-	
人 口		474	509	▲ 35	
世 帯 数	303	318	▲ 15		
内 子 町	内 子	出 火 率	2.5	2.45	0.05
		出 火 件 数	2	2	-
		うち建物火災	1	0	1
		人 口	7,958	8,168	▲ 210
	世 帯 数	3,770	3,822	▲ 52	
	五 十 崎	出 火 率	4.2	4.22	▲ 0.02
		出 火 件 数	2	2	-
		うち建物火災	0	1	▲ 1
		人 口	4,684	4,738	▲ 54
	世 帯 数	2,110	2,111	▲ 1	
	小 田	出 火 率	5.7	0	5.70
		出 火 件 数	1	0	1
うち建物火災		1	0	1	
人 口		1,752	1,802	▲ 50	
世 帯 数	965	990	▲ 25		

※ ▲は減

※ 人口は各年12月31日現在の住民基本台帳によるもの。

7表 出火件数及び損害額の推移

区分 年別	出火件数 (件)	損 害 額 (千円)	1件あたりの損害額 (千円)
平成28年	24	30,829	1,285
平成29年	27	53,243	1,972
平成30年	26	38,349	1,475
令和元年	14	29,927	2,138
令和2年	25	67,661	2,706
令和3年	29	66,708	2,300
令和4年	33	98,000	2,970
令和5年	17	200,084	11,770
令和6年	17	6,055	356
令和7年	13	80,164	6,166

8表 出火原因別件数及び損害額

区 分	出火件数 (件)	割合 (%)	損害額 (千円)	割合 (%)
ラ イ タ ー	1	7.69	391	0.49
そ の 他 の 裸 火	1	7.69	47,184	58.86
石 油 ス ト ー プ ( 開 放 式 )	1	7.69	18,309	22.84
排 気 管	1	7.69	1,995	2.49
プ ラ グ	1	7.69	60	0.07
火 の つ い た 油	1	7.69	0	0.00
枯 れ 草 焼 き	1	7.69	10	0.01
固 定 煙 突 の 火 の 粉	1	7.69	161	0.20
調 査 中	1	7.69	3,028	3.78
不 明	4	30.77	9,026	11.26
合 計	13	100.00	80,164	100.00

※ 割合 (%) については、数字を調整している。

9表 初期消火の対応状況

効果	消火器具別			屋外消火栓設備	消火器	寝具、衣類等 をかけた	水道、浴槽等の水 をかけた	水バケツ	もみ消した	その他	合計
	効果有	効果無									
効果有	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	
効果無	0	4	0	2	0	0	0	0	0	6	

10表 建物火災の火元用途別の出火状況

用途別 年別	住宅 (併用含む)	作業場 工場	倉庫	共同住宅	店舗 飲食店	その他	合計
令和7年	3	2	1	0	1	1	8
令和6年	7	1	1	0	1	0	10

11表 死傷者の区分

区分	死者	負傷者	30日死者
消防吏員	0	0	0
消防団員	0	0	0
応急消火義務者	2	1	0
消防協力者	0	0	0
その他の者	0	0	0
合計	2	1	0

※ 30日死者とは、火災による負傷後48時間以上30日以内の死者。

# 次のページから救急の概況



マイナ救急とは・・・

救急隊員が傷病者のマイナ保険証(健康保険証として利用登録したマイナンバーカード)を活用し、傷病者の医療情報等を閲覧する仕組みのことです。

★マイナンバーカードを見せるだけで以下の情報が伝わります



- ・傷病者の説明負担が軽減されます
- ・より適切な処置が受けられます

マイナ救急の流れ



令和7年10月1日から開始

大洲地区広域消防事務組合  
全救急隊で実施



事業に関する情報は  
特設サイトでもご覧  
いただけます



総務省消防庁×大洲地区広域消防事務組合消防本部

【お問い合わせ】 大洲地区広域消防事務組合

消防本部 警防課 TEL: 0893-24-0119

## 令和7年の救急概況

### 1 救急業務状況（1表）

令和7年中における救急業務の実施状況は、出場件数3,685件（前年比270件減）、搬送人員3,495人（前年比238人減）であり、前年と比較して出場件数、搬送人員ともに減少している。

また、組合に配置している救急車6台すべてが高規格救急車であり、すべてに救急救命士が出動している。

### 2 事故種別救急概要（2・3表）

事故種別出場件数は、急病2,238件、その他（主に転院搬送）625件、一般負傷578件で出場件数の9割以上を占めている。前年と比較すると、急病168件、一般負傷37件、交通事故38件、火災2件、その他42件が減少しており、労働災害1件、運動競技10件、自損行為3件、加害2件、水難1件が増加している。

### 3 市町別救急業務状況（4表）

市町別救急件数は、大洲市が全体の73.4%（2,706件）、内子町が26.2%（966件）、管轄外が0.4%（13件）である。

内訳は、大洲2,099件、長浜425件、肱川147件、河辺35件、内子553件、五十崎248件、小田165件、管轄外13件である。

### 4 時間帯別救急状況（5表）

時間帯別の救急件数は、最も多い時間帯は昨年と同様に、午前10時から12時の間の541件であり、逆に少ない時間帯は、午前2時から4時の118件である。午前と午後で比較すると午前が1,685件、午後が2,000件と午後の方が多い。

### 5 月別曜日別救急状況（6表）

月別の救急件数は、1月の396件が最も多く（前年は8月の419件）、最も少ない月は6月の251件（前年は2月の272件）である。

また、曜日別の救急件数は、月曜日の594件が最も多く（前年は月曜日の681件）、最も少ないのは日曜日の485件（前年は金曜日の522件）である。

## 6 応急処置状況（7表）

救急隊員が行った応急処置の状況は、血中酸素飽和度測定、血圧測定、その他の応急処置（検温等）、保温の処置が多い。

救急救命士が行う救急救命処置は、器具を使用した気道確保のうち、ラリゲアルマスク等を用いた気道確保27件、気管挿管7件を実施。心肺機能停止後の静脈路確保46件、うち薬剤投与を32件実施している。

また、平成28年6月1日から処置範囲が拡大された処置のうち、心肺機能停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液は17件、血糖測定は29件、低血糖発作症例へのブドウ糖溶液投与は10件である。

## 7 医療機関別搬送人員状況（8表）

収容医療機関の状況は、搬送人員の79.0%（2,764人）を管内の医療機関に搬送しており、うち、99.3%（2,746人）は救急告示病院に搬送している。

また、管外医療機関への搬送は731人であり、その45.4%に当たる332人の事故種別はその他（主に転院搬送）によるものである。

## 8 市町別人口割救急出場状況（9表）

市町別人口割救急状況は、人口1,000人当たりの救急発生件数を比較すると、最も発生件数が高いのは小田の94件、次いで肱川87件、長浜81件、河辺74件、内子69件、大洲68件であり、最も低いのは五十崎53件である。

## 9 高齢者事故種別搬送人員状況（10表）

高齢者（「年齢65歳以上の者」をいう。）に関する救急状況は、搬送人員2,687人で昨年に比べて113人減少しており、全搬送人員の76.9%を占めている。

また、事故種別で見ると、急病1,627人、その他（主に転院搬送）487人、一般負傷464人の順である。

## 10 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況（11表）

高齢者における急病の疾病分類は、その他を除くと呼吸系の331人（20.3%）が最も多く、次いで心疾患が312人（19.2%）、消化系250人（15.4%）、脳疾患168人（10.3%）の順である。

## 1.1 まとめ

救急件数は、近年増加傾向であったが、昨年は一昨年比べて270件減少した。内訳として、急病が最も減少しており、続いて交通事故、一般負傷が減少していた。この要因として、各種広報活動をはじめ、救急車の適正利用に関する周知及び啓発や、救急相談窓口「#7119」の利用促進などの取り組みが一定数の効果を上げたものと考えられる。一方、搬送人員のうち65歳以上の高齢者が全体の約77%を占めている。搬送人員の大部分を高齢者が占めている現状から、高齢化の進展に伴い今後も高齢者の救急需要が増加することが見込まれる。

以上のことから、限られた救急車を有効に活用し、緊急性を要する事案へ迅速な対応を図るため、引き続き広報活動や#7119などの啓発活動を推進していく必要がある。

※ 数値については、速報値を計上しています。

1表 年別救急業務状況

区分 年別	出場件数						搬送人員					
	合計	大洲消防署本署	長浜支署	川上支署	内子消防署本署	小田出張所	合計	大洲消防署本署	長浜支署	川上支署	内子消防署本署	小田出張所
令和7年	3,685	2,053	430	204	805	193	3,495	1,958	399	197	759	182
令和6年	3,955	2,205	470	241	878	161	2,687	1,454	330	157	589	157
昨年比増減	▲ 270	▲ 152	▲ 40	▲ 37	▲ 73	32	▲ 238	▲ 123	▲ 38	▲ 33	▲ 79	35
							▲ 113	▲ 31	▲ 30	▲ 27	▲ 65	40

※ ▲は減

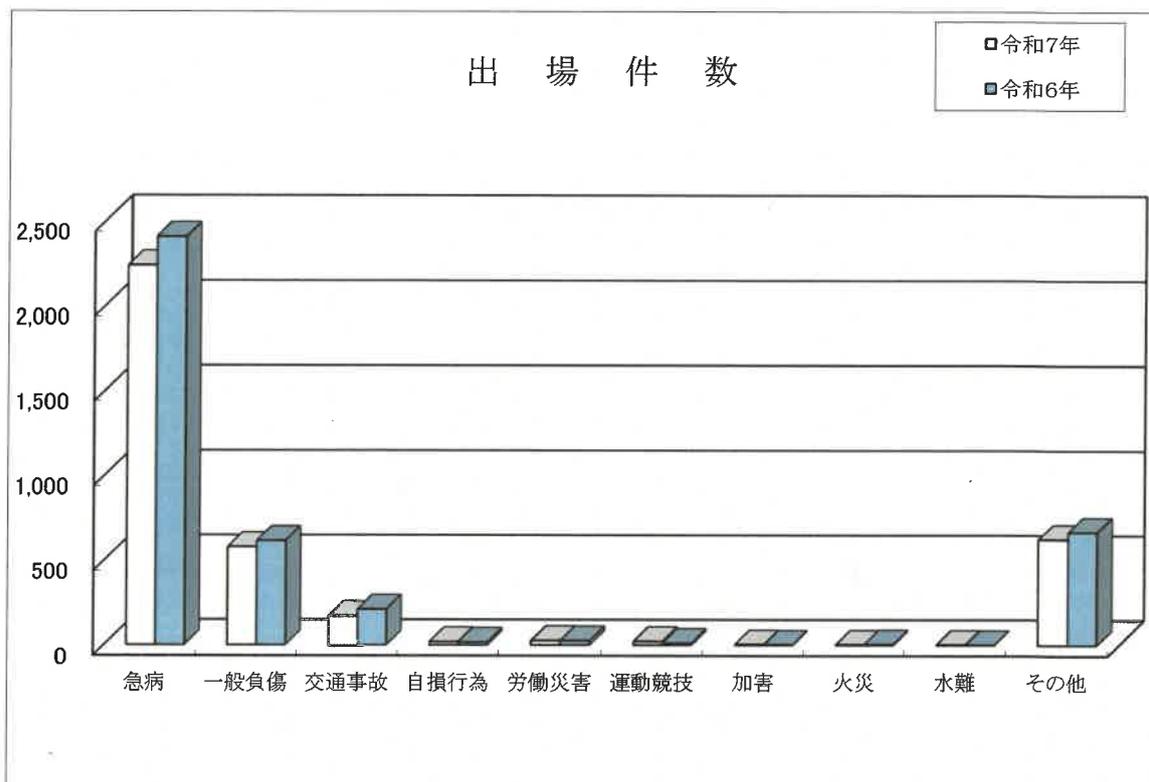
下段の数値は65歳以上

2表 事故種別の救急概要

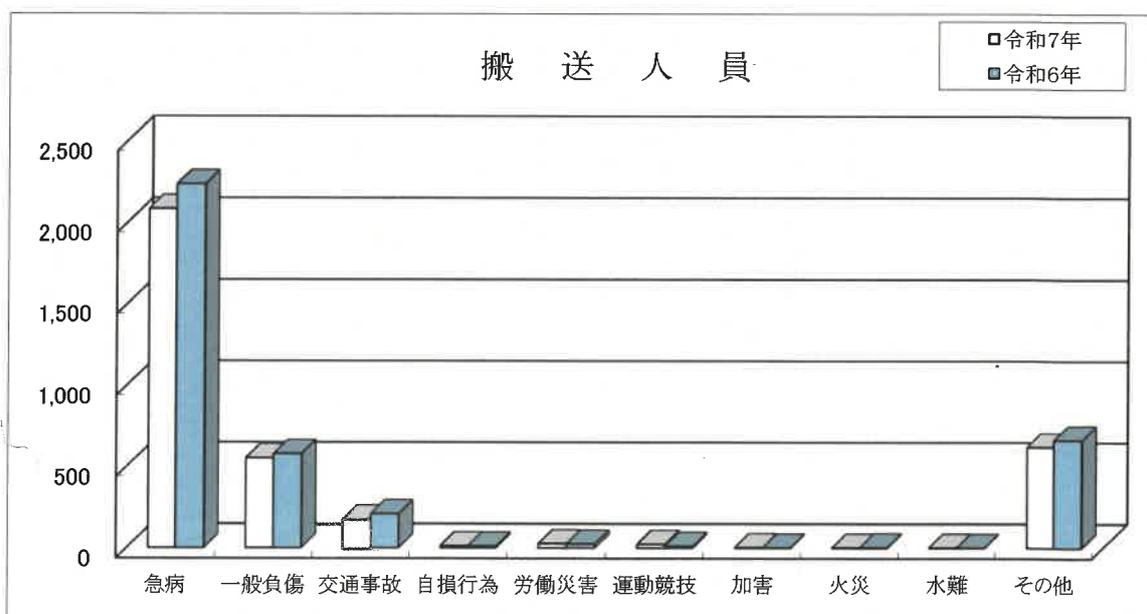
区分 事故種別	組				合				令和7年									
	出場件数		搬送人員		増減	大洲1		大洲2		長浜		川上		内子		小田		
	令和7年	令和6年	令和7年	令和6年		出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	出場件数	搬送人員	
急病	2,238	2,406	▲168	2,082	2,233	▲151	961	896	167	154	292	270	131	128	545	502	142	132
一般負傷	578	615	▲37	552	578	▲26	221	211	45	42	95	89	50	49	138	132	29	29
交通事故	172	210	▲38	176	209	▲33	66	67	27	30	13	11	15	12	40	43	11	13
自損行為	19	16	3	12	11	1	12	7	3	2	1	0	1	1	2	2	0	0
労働災害	26	25	1	26	24	2	8	8	2	2	3	3	3	3	8	8	2	2
運動競技	21	11	10	22	11	11	7	8	5	5	2	2	1	1	5	5	1	1
加害	3	1	2	3	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
火災	2	4	▲2	1	3	▲2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0
水難	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	625	667	▲42	620	663	▲43	269	269	257	255	23	23	4	3	66	65	6	5
合計	3,685	3,955	▲270	3,495	3,733	▲238	1,547	1,468	506	490	430	399	205	197	806	759	191	182

※ ▲は減

3表 事故種別出場件数・搬送人員



	急病	一般負傷	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	加害	火災	水難	その他
令和7年	2,238	578	172	19	26	21	3	2	1	625
令和6年	2,406	615	210	16	25	11	1	4	0	667

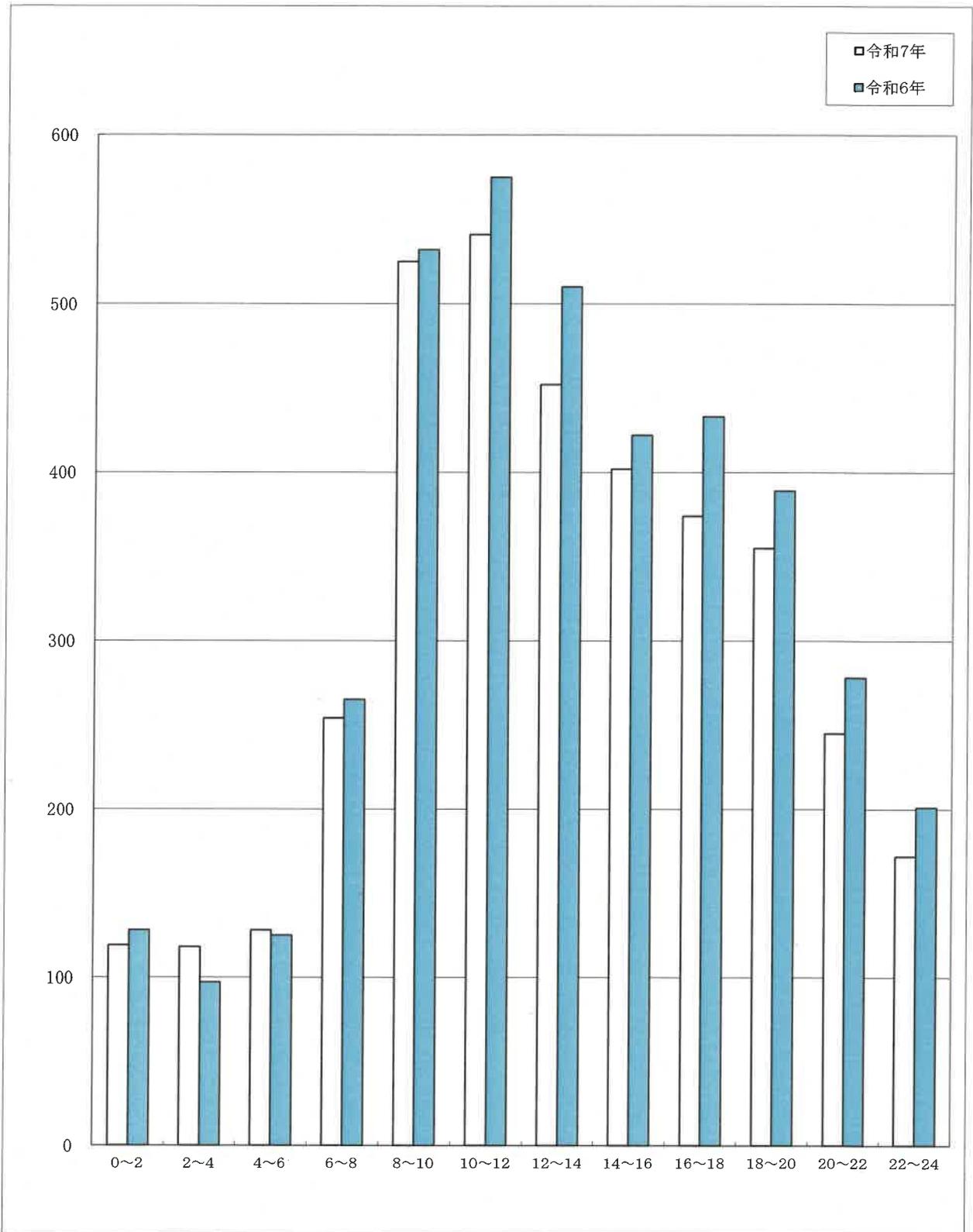


	急病	一般負傷	交通事故	自損行為	労働災害	運動競技	加害	火災	水難	その他
令和7年	2,082	552	176	12	26	22	3	1	1	620
令和6年	2,233	578	209	11	24	11	1	3	0	663

4表 市町別救急業務状況

市町 事故種別	組合	大洲市				内子町			管轄外
		大洲	長浜	肱川	河辺	内子	五十崎	小田	
	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数	出場件数
	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員	搬送人員
急病	2,238	1,134	293	97	25	368	189	124	8
	2,082	1,053	273	94	25	333	178	118	8
一般負傷	578	279	93	36	7	92	44	27	0
	552	263	88	35	7	92	40	27	0
交通事故	172	98	15	10	1	27	6	10	5
	176	99	13	10	1	34	6	9	4
自損行為	19	12	3	0	1	1	2	0	0
	12	8	0	0	1	1	2	0	0
労働災害	26	10	4	2	0	7	1	2	0
	26	10	4	2	0	7	1	2	0
運動競技	21	13	2	1	0	4	0	1	0
	22	14	2	1	0	4	0	1	0
加害	3	2	0	0	0	1	0	0	0
	3	2	0	0	0	1	0	0	0
火災	2	0	0	0	0	2	0	0	0
	1	0	0	0	0	1	0	0	0
水難	1	0	1	0	0	0	0	0	0
	1	0	1	0	0	0	0	0	0
その他	625	551	14	1	1	51	6	1	0
	620	549	14	0	1	49	6	1	0
合計	3,685	2,099	425	147	35	553	248	165	13
	3,495	1,998	395	142	35	522	233	158	12

5表 時間帯別救急出場件数



時間	0~2	2~4	4~6	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24
令和7年	119	118	128	254	525	541	452	402	374	355	245	172
令和6年	128	97	125	265	532	575	510	422	433	389	278	201

6表 月別曜日別救急出場状況

曜日 月	日	月	火	水	木	金	土	合計
1月	36	73	38	51	67	78	53	396
2月	41	33	55	36	61	45	33	304
3月	44	57	44	35	50	33	38	301
4月	31	51	38	46	37	44	40	287
5月	39	34	37	25	39	41	47	262
6月	41	48	34	27	30	36	35	251
7月	39	37	62	52	43	51	43	327
8月	53	54	45	52	35	53	52	344
9月	38	65	47	48	35	55	36	324
10月	40	57	35	40	48	33	43	296
11月	43	40	31	41	28	37	45	265
12月	40	45	63	56	38	41	45	328
合計	485	594	529	509	511	547	510	3,685

7表 救急隊員が行った応急処置の状況

事故種別	急病	交通事故	一般負傷	その他	合計	
応急処置対象人員	2,082	176	552	685	3,495	
処置項目						
止血	6	21	73	6	106	
固定	40	56	169	24	289	
人工呼吸	29	1	4	6	40	
心マッサージ	30	1	5	4	40	
うち自動	20	0	1	4	25	
心肺蘇生	58	2	7	4	71	
うち自動	22	1	5	0	28	
酸素吸入	510	17	37	215	779	
気道確保	70	1	7	7	85	
うち経鼻	0	0	0	0	0	
うち異物除去	2	0	2	0	4	
うちラリソールマスク等	20	0	5	2	27	
うち気管挿管	5	1	0	1	7	
保温	1,569	100	384	559	2,612	
被覆	9	20	86	11	126	
在宅療法継続	2	0	0	0	2	
点滴処置	0	0	0	0	0	
外傷処置	0	0	0	0	0	
その他	2	0	0	0	2	
除細動	8	0	1	0	9	
静脈路確保	心肺機能停止前	8	5	2	2	17
	心肺機能停止後	35	1	7	3	46
	ブドウ糖投与	10	0	0	0	10
血糖測定	29	0	0	0	29	
ブドウ糖溶液投与	9	0	0	0	9	
薬剤投与	26	0	5	1	32	
その他の応急処置	2,077	173	547	676	3,473	
血圧測定	1,990	170	536	668	3,364	
聴診器による聴取	329	35	41	29	434	
血中酸素飽和度測定	2,015	173	543	676	3,407	
心電図	722	18	45	146	931	
合計	9,581	794	2,499	3,037	15,911	

8表 事故種別医療機関別搬送人員状況

告示開設者別		事故種別		急病		交通事故		一般負傷		その他		合計		
		国	立	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外	うち管外		
救急告示医療機関	国	1	1	3	3	5	5	21	21	30	30	30	30	
	公	790	287	67	12	201	50	241	154	1,299	503	1,299	503	
	公	6	6	0	0	1	1	60	60	67	67	67	67	
	私	1,257	2	96	1	337	0	271	8	1,961	11	1,961	11	
	的	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	計	2054	296	166	16	544	56	593	243	3,357	611	3,357	611	
	その他の医療機関	国	1	1	0	0	1	1	7	7	9	9	9	9
		公	14	14	7	7	7	7	80	80	108	108	108	108
		公	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		私	1	1	0	0	0	0	2	2	3	3	3	3
的		12	0	3	0	0	0	3	0	18	0	18	0	
計		28	16	10	7	8	8	92	89	138	120	138	120	
計		国	2	2	3	3	6	6	28	28	39	39	39	39
		公	804	301	74	19	208	57	321	234	1,407	611	1,407	611
		公	6	6	0	0	1	1	60	60	67	67	67	67
		私	1,258	3	96	1	337	0	273	10	1,964	14	1,964	14
	的	12	0	3	0	0	0	3	0	18	0	18	0	
	計	2,082	312	176	23	552	64	685	332	3,495	731	3,495	731	
	その他の場所	接	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		の	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2,082	312	176	23	552	64	685	332	3,495	731	3,495	731		

9表 市町別人口割救急出場状況

(人口は12月末現在)

市町	区分	人口 (人)	出場件数 (件)	搬送人員 (人)	人口1,000人当りの発生件数(件)
大洲市	大洲	30,821	2,099	1,998	68
	長浜	5,220	425	395	81
	肱川	1,683	147	142	87
	河辺	474	35	35	74
内子町	内子	7,958	553	522	69
	五十崎	4,684	248	233	53
	小田	1,752	165	158	94
組合管内		52,592	3,672	3,483	70
管轄外			13	12	
合計			3,685	3,495	

10表 発生場所別高齢者事故種別搬送人員状況

市町	区分	事故種別								合計			
		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害		自損行為	急病	その他
大洲市	大洲	0	0	0	50	5	1	217	1	2	794	422	1,492
	長浜	0	0	1	6	0	1	80	0	0	223	14	325
	肱川	0	0	0	1	0	0	27	0	0	72	0	100
	河辺	0	0	0	1	0	0	7	0	1	27	1	37
内子町	内子	1	0	0	21	4	1	80	1	1	274	44	427
	五十崎	0	0	0	3	0	0	28	0	1	130	6	168
	小田	0	0	0	5	1	0	24	0	0	107	0	137
	その他(管轄外)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	合計	1	0	1	87	10	3	464	2	5	1,627	487	2,687

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。

11表 高齢者市町別疾病分類搬送人員状況

市町	疾病分類	脳疾患	心疾患	消化系	呼吸系	精神系	感覚系	泌尿系	新生物	その他	合計
		大洲	113	190	163	167	6	39	61	42	148
長浜	15	35	30	30	1	15	8	8	39	181	
川	5	7	2	21	0	8	4	1	11	59	
河辺	0	3	2	9	0	0	4	0	3	21	
内子	20	45	31	64	3	23	20	5	44	255	
五十崎	7	6	14	26	1	6	10	5	19	94	
小田	8	26	8	14	2	8	7	1	14	88	
合計	168	312	250	331	13	99	114	62	278	1,627	

※ 高齢者～年齢65歳以上の者をいう。